

2. 審査項目シート

【代表的な活動事例】

※申請書提出後、レベル認定審査のための面接試験を実施いたします。その参考として業務経歴書に記載した活動のうち生産者や事業者として実施している場合には1つ、コーディネートが主体の場合には2つまでを選択していただき、下記の項目に適合する事項がある場合には、その概略をご記入ください。

【ご記入にあたっての注意事項（必ずお読みください）】

注意 1：ご記入はすべて整理された文章や箇条書きで行ってください。以下、申請書全体にわたり図表の挿入は行わないでください。

<p>(1) ご自身の能力や実績を示す代表的な活動名（地域）</p>	<p>・生産者や事業者は1つ、コーディネートが主体の場合には2つまで、活動名（仮題でも可）のみをご記入ください。※経歴書に記載した事項のコピーで結構です。</p>
<p>(2) 活動事例の概略</p>	
<p>(3) 活動の経緯 ※上記に記した活動に対し、左記した各項目のうち該当するものがあれば、その具体的な実施年月を記入してください</p>	<p>○自身の関わった時期： 年 月～ 年 月 ○当該商品・サービス開発の検討開始： 年 月 ○当該商品・サービスの試作品完成： 年 月 / 試作なし ○当該商品・サービスのマーケティング調査： 年 月～ 年 月 / 調査なし ○当該商品・サービスの販売開始： 年 月 / 未販売 ○当該商品・サービスの販売終了： 年 月 / 現在も販売中</p>
<p>(4) 活動に対する自身の役割と連携相手・実施体制</p>	<p>○自身の役割 上記に記した活動に対しご自身が果たした役割のうち、該当するものすべてに✓を付けてください。 ・事業主：□農林水産 □加工・製造 □流通・販売 □飲食 □観光施設 □その他[] ・支援者：□外部コンサルタント □その他[] ○活動の連携相手と実施体制 上記の活動が連携体等を構築して実施されている場合、その連携相手と役割をご記入ください。またご自身がコンサルタント等の支援者である場合、上記の活動で支援を行った相手とその方の役割をご記入ください。なお多くの方の連携で実施された場合、行を付け足してご記入ください。 ・生産者・事業者名（ ）その方の役割（生産・加工・販売・その他） ・生産者・事業者名（ ）その方の役割（生産・加工・販売・その他） ・支援者名（ ） ・支援者名（ ）</p>

【個人の能力及び実績】

下記に示した評価指標を参考に、業務をとおした経験等について該当する具体的な内容をわかりやすい文章で記載してください。 * 目安は評価指標ごとに 200 文字以内 注意 1: 「必須」の箇所は必ずご回答ください。ご回答されていない場合には、審査に必要な条件を満たしていないと判断され、申請いただいてもレベルの評価判定は行いません。		必須項目
①-1 商品・サービスの開発（商品化・サービス化）	1) 当該の取組や活動に対し、どのような形で商品やサービス等の企画・設計・開発に参画したか（しているか）。 〔記入欄〕	○
	2) 商品やサービスの開発にあたり自身や自分達の連携体・枠組みの強み（内部環境）をどのように利活用したか（しているか）。 〔記入欄〕	○
	3) 商品やサービス等の想定される市場の規模や成長性をどのように検討したか（しているか）。どのような方法や手法を駆使し取組や活動の中で何を検討したのか。 〔記入欄〕	○
	4) 商品やサービスの最終消費者はどのような人か、どのような利用シーン想定したか（しているか）。 〔記入欄〕	○
	5) 競合相手に対する競争優位性（外部環境）について、どのような判断を行っているか。 〔記入欄〕	○
	6) 取組や活動、商品やサービスの損益分岐点をどのように計算しているか。その結果と現在の状況について記載してください。 〔記入欄〕	○
①-2 商品・サービスの開発（多角化等）	1) 商品やサービスを発展的に展開する上で、その活動をどのように広げたか（深めたのか）、なぜその選択を行った（行っている）のか。 〔記入欄〕	○
	2) 上記の展開を進める中で、連携する各事業者に対し、どのような経営上のメリット（定量的でも定性的でも可）を創出したか。 〔記入欄〕	○
	3) その活動は今後どのように発展して行くのか（発展する予定か）。また、その活動をもとに次の商品やサービス等の展開はどのようなものを想定しているか。 〔記入欄〕	
②-1	1) 6次産業化や食農連携で開発する商品の販路として考えられるものを、販路の特性等に応じ整理して列挙してください。	○

販路開拓・プロモーション（新規販路の開拓・拡充）	〔記入欄〕	
	2) 取組や活動により開発した商品を、具体的な事業として展開するために、上記で列挙した販路のうち、どのような理由でどのような販路を選択したか（しているか）。また、その相手先へのアプローチはどのような方法があるか。	○
	〔記入欄〕	
②-2 販路開拓・プロモーション（メディア等への情報発信）	3) 取組や活動により開発した商品のサプライチェーン（商流・物流・情報流）について、どのような方法、考えで現在のフローを構築したか（しているか）。また、そのフローは効率的かつ効果的な方法であるか。	○
	〔記入欄〕	
	1) 取組や活動により開発した商品やサービスを、最終消費者に認知させるための手段は、どのようなものが考えられるか（どのような方法を選んでいるか）。その種類と効果について記載してください。	○
②-1 連携・コーディネート（生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携）	〔記入欄〕	
	2) 取組や活動により開発した商品やサービスを、最終消費者に体験させるための手段は、どのようなものが考えられるか（どのような方法を選んでいるか）。その種類と効果について記してください。	○
	〔記入欄〕	
③-1 連携・コーディネート（生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携）	3) 商品やサービスの評判を把握する手段は、どのような方法が考えられるか。	
	〔記入欄〕	
	1) 取組や活動を推進する連携体や枠組みを推進・発展させるために、どのような人的ネットワークを構築したか（しているか）。構築の方法や狙いも含めて記載してください。	○
	〔記入欄〕	
③-2 連携・コーディネート（生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携）	2) 取組や活動を推進する連携体や枠組みにおいて、どのような方法で相手の能力を活かしているか（活かしたか）。	○
	〔記入欄〕	
	3) 取組や活動を推進する連携体や枠組みにおいて、連携事業者間の付加価値配分はどのように行ったか（行っているか）。	○
	〔記入欄〕	
③-3 連携・コーディネート（生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携）	4) 連携体や枠組みで発生した課題を解決するため、どのような手段を講じているか（講じたか）。利害関係者の意見調整の際に、自身はどのような役割を果たしているか。	○
	〔記入欄〕	

	<p>5) 連携体や枠組みの活動がとん挫しそうになった場合（商品の売れ行きが伸び悩む等）、どのような方法をもって軌道修正を講じているか（講じたか）。また、その状況から脱出するために、連携体や枠組み全体のモチベーションを向上させているか。</p> <p>〔記入欄〕</p>	○
③-2 連携・コーディネート（地域活性化への貢献）	<p>1) 取組や活動を推進することは、どのように地域に寄与しているか（寄与したか）。</p> <p>〔記入欄〕</p>	○
	<p>2) 商品やサービスの成功、連携等による取組や活動を推進することで、地域への経済的な波及効果をどのようにシミュレーションしているか（したか）。</p> <p>〔記入欄〕</p>	○
	<p>3) 商品やサービスの成功、連携等による取組や活動を推進することで、地域への非経済的な波及効果をどのようにシミュレーションしているか（したか）。</p> <p>〔記入欄〕</p>	
	<p>4) 地域活性化のために本業とは直接的には関係のない活動は行っているか。その活動は当該事例とどのように繋がっているか。</p> <p>〔記入欄〕</p>	
<p>*実績がある場合には、実績の起点（年月）を明らかにし現在までの継続的に実施されている状況について、具体的な数値等を用いて記入してください。例えば、過去に支援事業等で実施したものの現在何も行っていないなどの事例は、評価の対象にはなりません。</p> <p>*なお、何らかの理由により、直近の記載ができない場合には、年次を記載の上、過去の実績でも構いませんがその理由を面接時にご説明いただくこととなります。</p> <p>*また、記入した数値の根拠を「実績記入シート」に記載し提出してください。</p>		
④その他のアピールポイント	<p>1) 当該商品の成功により連携事業者のいずれかが新たな人材を雇用できる（した）。</p> <p>〔記入欄〕</p>	
	<p>2) 当該商品を通じて、便益創出・雇用創出以外の社会貢献を企図している（した）。</p> <p>〔記入欄〕</p>	
⑤事業成果	<p>1) 当該商品の売上は伸びている。</p> <p>〔記入欄〕</p>	○
	<p>2) 当該商品により全連携事業者が利益を確保できている。</p> <p>〔記入欄〕</p>	

実績記入シート

<p>-ご注意事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 申請書に記載した事例の実績について、下記の表に記載した項目に従い内容をご記入ください。 ■ なお、<u>ご記入いただきました事業者様等につきましては、認定審査段階に内容確認のためのご連絡をさせていただきます場合もございます。</u>あらかじめご理解願います。 		申請者 I D			
		(ふりがな) お名前			
<p>以下の箇所については、①生産者や事業者の方の場合、ご自身および連携された相手の内容について記入してください。②コンサルタントなど主にコーディネートを行った実績の場合には、その支援業務により発生した実績について各事業者等へのヒアリングを行い、その結果を記載していただき、実績との関わりやコーディネートの実施年数、受益者とのコンサルティング契約の有無などについて「その他の事項」欄にご記入ください。</p>					
区分	事業者名* ¹	所在地 (市町村まで で結構です)	TEL	当該事項で 創出した 雇用者数* ²	当該事項で創出 した 売上高* ³
生産者	〇〇〇〇	東京都港区	00-0000-0000	00名	000万円
製造業者					
流通業者					
その他					
<p>その他の事項</p> <p>取組や活動により開発した商品やサービスを通じて、受益創出・雇用創出以外の社会貢献を企図していることはありますか（したことはありますか）。</p>		<p>分かりやすい文章で記載してください。</p>			

*1：事業者名には株式会社、有限会社、農事組合法人などの事業形態名をご記入する必要はありません。

*2：雇用者数は、「④その他のアピールポイント」の1)で記載した事項で創出した数をご記入ください。なお福利厚生を事業者として支払うものであれば正職員以外（パート・アルバイト等）でも可とします。

*3：売上高は、「⑤事業成果」の1)で記載した事項の直近の実績をご記入ください。

なお、何らかの理由により、直近の記載ができない場合には、年次を記載の上、過去の実績でも構いませんがその理由を面接時にご説明いただくこととなります。

*4：認定審査の面接時には雇用者数、売上高等の根拠となる資料等をご用意ください。資料の有無は認定審査時の評価対象（加点・減点要素）とさせていただきます。